

ウェザーアクト処理

NETIS 旧登録番号
No.SK-980005-VE
『設計比較・活用促進技術』

- ◆ 腐食防食協会 論文賞 (1996年度)
- ◆ 鉄鋼協会 依論文賞 (1998年度)
- ◆ 大阪技術発明賞 優秀賞 (2001年度)
- ◆ 日本鋼構造協会 業績賞 (2002年度)
- ◆ 日本金属学会 技術開発賞 (2002年度)
- ◆ 全国発明賞 (2003年度)
- ◆ 市村産業賞 貢献賞 (2004年度)

❖ JIS耐候性鋼材 (JIS G3114) の保護性さび生成促進処理剤

ウェザーアクトの概要

耐候性鋼材は、長期にわたる乾湿の繰り返しにより、その表面に緻密で安定したさびを形成しますが、裸仕様の適用条件は、

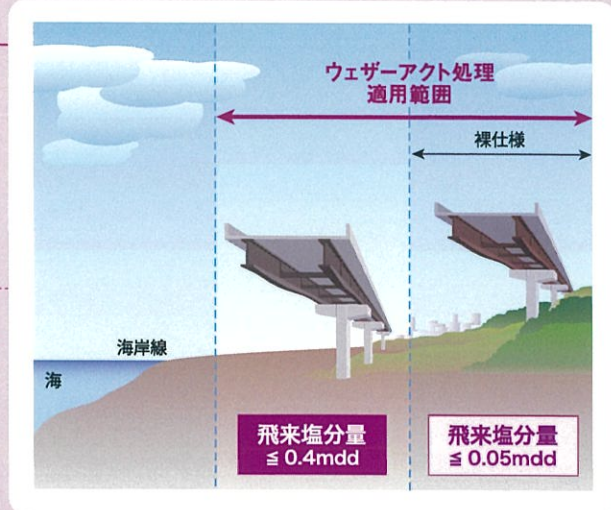
$$\text{飛来塩分量} \leq 0.05\text{mdd}$$

となっています。 (mdd: mg / 100cm² / day)

ウェザーアクトは、耐候性鋼材の表面にクロム置換ゲーサイト(保護性の高いさび層)を早期に形成できる表面処理剤で、適用範囲は

$$\text{飛来塩分量} \leq 0.4\text{mdd}$$

まで拡大します。



特長

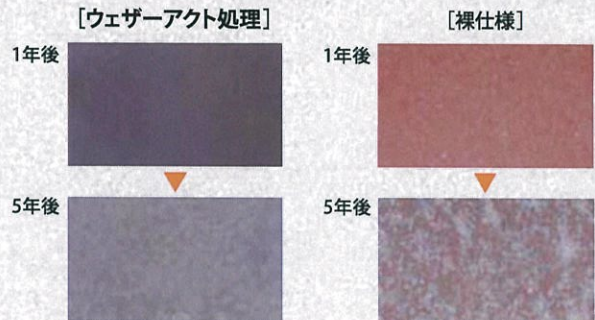
- > **腐食速度の低減**
短期間で促進的に保護性さびを形成するため、耐候性鋼材の腐食速度をさらに低減します。
- > **厳しい環境下でもさびの安定化を実現**
塩分環境下および結露環境下においても、さびの安定化が実現できます。
- > **維持管理費用が不要**
塗り替え等のメンテナンス費用が不要になります。
- > **景観性の向上**
初期の赤さび、流れさびを抑制するので、裸仕様に比べ、初期の景観性が向上します。

処理実績

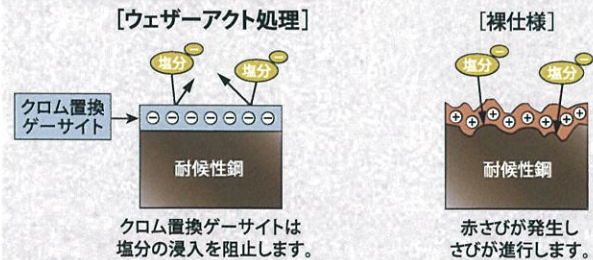
- 国土交通省 / NEXCO / 地方自治体: 212万㎡ (2019.1月現在)



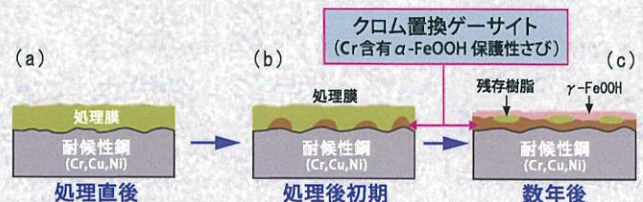
経年変化例 (大気暴露)



塩分環境下での処理効果



保護性さびの生成プロセス



※ウェザーアクト処理は、P S 処理剤とF S 処理剤の2層処理によりその性能が発揮されます。膜厚管理は各層ごとに実施いただきますようお願いいたします。詳しくは2019.4月版の施工要領書をご参照ください。

● お問い合わせ先

東京事業所 〒273-0026 千葉県船橋市山野町47-1 TEL : 047-410-3203
大阪事業所 〒541-0048 大阪市中央区瓦町4-3-7 TEL : 06-6203-8031